

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6202570号  
(P6202570)

(45) 発行日 平成29年9月27日(2017.9.27)

(24) 登録日 平成29年9月8日(2017.9.8)

(51) Int. Cl.	F 1	
<b>A 6 1 K 33/10 (2006.01)</b>	A 6 1 K 33/10	
<b>A O 1 K 61/00 (2017.01)</b>	A O 1 K 61/00	
<b>A 6 1 P 23/00 (2006.01)</b>	A 6 1 P 23/00	1 7 1
<b>A 6 1 K 47/46 (2006.01)</b>	A 6 1 K 47/46	
<b>A 6 1 K 47/12 (2006.01)</b>	A 6 1 K 47/12	

請求項の数 10 (全 32 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2013-263686 (P2013-263686)	(73) 特許権者	598096991
(22) 出願日	平成25年12月20日(2013.12.20)		学校法人東京農業大学
(65) 公開番号	特開2015-120641 (P2015-120641A)		東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号
(43) 公開日	平成27年7月2日(2015.7.2)	(74) 代理人	100122574
審査請求日	平成28年12月15日(2016.12.15)		弁理士 吉永 貴大
		(72) 発明者	渡邊 研一
			東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
			農業大学内
		(72) 発明者	松原 創
			東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
			農業大学内
		審査官	渡部 正博

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 魚類用麻酔剤及びその製造方法並びに該魚類用麻酔剤の使用期限を判別する方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

水溶性色素の色調変化によって使用期限を判別することのできる炭酸水素ナトリウム由来の炭酸ガスを利用した固形状の魚類用麻酔剤であって、

炭酸水素ナトリウムと、有機酸と、食品添加物である水溶性色素とを含有し、

該水溶性色素の色調変化が肉眼で観察できるように該魚類用麻酔剤の表面の一部分に該水溶性色素が存在することを特徴とする、

固形状魚類用麻酔剤。

【請求項2】

前記水溶性色素が、コチニール色素、クチナシ黄色色素、スピルリナ青色色素、クチナシ緑色色素からなる群から選ばれる1種の水溶性色素である、

請求項1に記載の固形状魚類用麻酔剤。

【請求項3】

前記水溶性色素の含有量が、0.0088重量%～0.064重量%である、

請求項1又は2に記載の固形状魚類用麻酔剤。

【請求項4】

前記有機酸が、コハク酸である、

請求項1～4のいずれか1項に記載の固形状魚類用麻酔剤。

【請求項5】

さらに、固形化促進剤を含有することを特徴とする、

10

20